

手紙を読む  
した子ども  
き込まれる  
ピーディー

もしい。ど  
ハ物たちは浮  
象派の画家  
ンパスに  
た手法とは

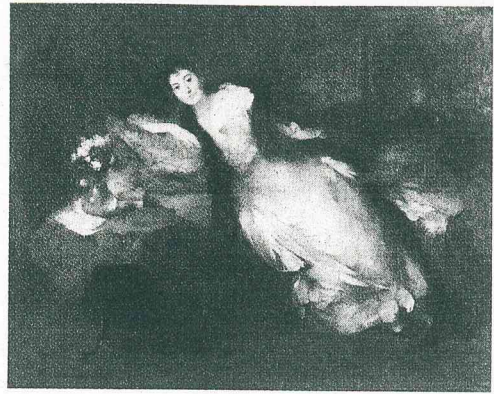
離れ、友人  
ラルなサロ

ウジェーヌ・カリエール「手紙」(1887年ごろ、個人蔵)

# 浮かび上がるセピア色の



ウジェーヌ・カリエール「インク壺の前の子ども、マルグリット」(1890~92年ごろ、個人蔵)



ウジェーヌ・カリエール「ポール・ガリマル夫人の肖像」(1888年、個人蔵)

は既に「影」であり、「追憶」の中にある。そうであるなら、彼の立っていた場所は意外と写真家のそれに近いようにも思えた。

# 「の空気

で、政経塾に漲るエー  
ル(光を伝ふ)のかつて  
建物の中を案内してもらっ  
た。紳策の貴士を継ぎたい、



尚中さん。奥には  
がそり立つ

## 菊池舞台の映画「春なれや」

16日、菊池市で無料上映会

女優の吉行和子さんが主演し、菊池市などで撮影された短編映画「春なれや」の無料上映会が16日午後1時から、同市文化会館で開かれる。



福岡市生まれの外山文治監督(36)＝東京都、写真＝の作品。人と関わりながら物語をつくる面白さにひかれ、高校時代から映画撮影を始めたという。2003年、吉行さん主演映画「燦々一さんさん」で高齢者の「婚活」を明るく描き監督デビュー。高齢化社会の光と影をテーマにした作品を撮り続けている。

「春なれや」は、吉行さん演じる老婦人が、思い出の桜の木をきっかけに希望

吉行和子さん主演の短編映画「春なれや」の1シーン (提供写真)



を見いだす物語。スタッフから、桜の名所として菊池市での撮影を勧められたという。

同市での撮影を終えた約10日後、熊本地震が発生。「自分のできることをしたい」と無料上映会を企画した。外山監督は「菊池市のみなさんと作り上げた映画。楽しい時間を過ごしてもらえたら」と話している。(國崎千晶)

2016.10.3 熊日新聞

リーなど約80点。

■人吉伝統家具やまがみ手職展 4~10日、県伝統工芸館。山上貢司さん(人吉市)が、框(かまち)造りの開き戸の収納飾り棚や、一枚板の漆仕上げのテーブル、花台など約50点。

■流木と竹の花器展 4~10日、県伝統工芸館。岩下哲郎さん(熊本市)が、流木や竹で制作した花器など約150点。

■第2回メタルエンボッシングアート作品展 4~10日、県伝統工芸館。日本メタルエンボッシングアート協会熊本教室の約10人が、スズ製の薄い板で作ったプレートやフォトフレーム、アクセサ

フ熊本で水彩画を学んでいる9人が、風景などを描いた各2点。講師の佐々木三多さん(熊本市)も賛助出品。

■県高文連写真部前期コンテスト入賞作品展 5~11日、鶴屋。

■木目込人形・天草四郎更紗・竹工芸 三人展 5~16日、くまもと工芸会館 ☎(358) 5711。くまもと工芸協会元会員の福田博子さん、有川満知子さん、東日出夫さんの遺作展。

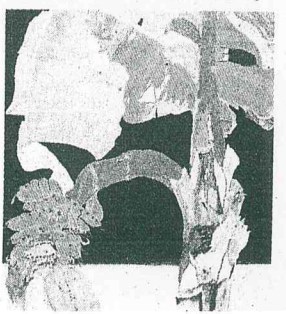
■来熊120年 漱石と熊本 6日~11月14日、くまもと文学・歴史館 ☎(384) 5000。熊本時代の夏目漱石を特集。自筆の短冊や書簡をはじめ、当時の熊本について

も。

■三点鐘ファイナル作品展 9~15日、三点鐘 ☎(326) 3040。10月で閉店する同店の企画展。県内の画家ら30人が油彩や水彩、色紙など各1点。

■藤井蓮「貼り絵」個展 9~17日、なかお画廊 ☎(368) 9562。

藤井さん(京都市)が、九州で初の個展。虫や鳥、植物、野菜などをモチーフに約30点。9・10



~16日 名市・ ☎0968 9844。さん(市)が象や拵描いたなど。画春口光(同)若い頃 ■安四季」ふ一番(菊